



2590

ダイドーグループホールディングス

ここからだに、
おいしいものを。



～世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを創り出すDyDoグループへ～

会社概要

● グループの変遷

- 戦後まもなく配置業業をスタートし、高度経済成長期に自販機ビジネスの拡大で急成長
- ダイドードリンコ(株)を中核企業とした持株会社
- 祖業の配置業業は、現在は「大同薬品工業(株)」としてドリンク剤の受託製造を担う
- 近年はポートフォリオの拡充をめざして、ドライゼリー市場でトップシェアを誇る(株)たらみを完全子会社化したほか、トルコやマレーシアなどへの海外展開を加速

● 業務・財務の状況(2019年1月期)

- 売上高1,715億、営業利益60億
- 売上構成比
国内飲料事業:72.8%、海外飲料事業:10.0%、
医薬品関連事業:6.1%、食品事業:11.1%
- ROA3.5%、ROE4.2%
- 金融資産867億円

成長戦略

● 長期ビジョン「グループミッション2030」

- 事業環境の大きな変化が見込まれる中で、100年先も存続する企業であり続けるため、2030年の当社グループのありたい姿「グループミッション2030」として「世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを創り出すDyDoグループへ」を策定
- 以下の基本方針のもと、成長性・収益性・効率性の高い事業ポートフォリオの形成をめざす
 - 国内飲料事業をイノベーションし、コア事業であり続ける
 - 海外での事業展開を拡大し、売上高比率20%以上にする
 - 非飲料事業での第2の柱を構築する

● 「中期経営計画2021」

- 「グループミッション2030」の実現に向けた最初の行動計画「中期経営計画2021」では収益基盤の強化と戦略的投資に取り組む

各事業の特徴と事業戦略

● 国内飲料事業

- セグメント売上高の80%以上が自販機によるもので、商品別ではコーヒーが50%以上を占めるなど、業界でもユニークなポジションを確立
- 労働力不足環境下でも持続可能な自販機オペレーション体制の構築に向け、オペレーションの効率化を図り、自販機市場での優位性の確立をめざす

● 海外飲料事業

- トルコ、マレーシア、ロシア、中国でエリア特性に応じた事業を推進
- 海外飲料事業全体で黒字化を実現するため、戦略拠点の見直しなどを通じて改革への取り組みを進める

● 医薬品関連事業

- 高い開発能力と品質管理で業界トップクラスの実績を誇る
- 2020年に本稼働予定のパウチ容器に対応した製造ラインや関東新工場を通じて、医薬品・医薬部外品の受託製造企業としての圧倒的なポジションの確立をめざす

● 食品事業

- ドライゼリーの製造・販売で業界トップシェア
- 多面的なコストの見直しによる収益力の改善とカテゴリの垣根を越えた新たなビジネスモデルの創出

資本政策と株主還元

● 資本政策

- 持続的成長の実現に向け、ビジネスモデルの改革と第2の収益の柱の構築に向けた投資が必要な時期
- 内部留保はそれらの実現に向けて優先的に振り向け、売上を伴った持続的な利益成長の実現することで、中期的な増配基調をめざす
- そのため、配当については1株当たり60円の安定配当を継続

● 高い評価を受ける株主優待制度

- 株主優待として、3,000円相当の自社グループ商品の詰め合わせを、100株以上保有の株主さまへ年2回進呈するほか、すべての株主さまへグループ企業の商品を優待価格で販売